

学会参加奨励金報告書

学籍番号：R22-003

名前：天井里咲

学会名：第 60 回日本赤十字社医学会総会

開催場所：仙台国際センター

開催期間：2024 年 10 月 17 日～2024 年 10 月 18 日

1. 学会参加の感想

今回の学会参加では、総合研究のテーマである災害医療に関する成果やチーム医療の体制など現場に必要な知識や情報を得ることを目的に参加しました。

企業展示では、災害現場や病院内の感染区域で使用されている自動ラップ式トイレの説明を聞きました。この自動ラップ式トイレは、排泄後は自動で個包装してくれ、排泄物のにおいも感じにくい設計となっており、非常に重宝されるものだと感じました。私は能登半島地震で震度 7 の被災地に実家があり、ちょうど帰省中であつたため、避難所に避難した経験があります。避難した小学校では、非常用のトイレが設置されていなく、避難した住民の方々は、たいへん苦勞していました。また、近くの別の小学校では、トイレ環境が劣悪で感染症が蔓延していました。最近では災害時に便利な商品がたくさん開発されているにもかかわらず、各避難所に設置されていないことが現状のため、これから準備していかなければならないと感じました。

さらに、手術支援ロボットのダヴィンチの操作体験をさせていただきました。高解像度の 3 次元画像を見ながらアームを操作することができ、アームの動きが滑らかでダヴィンチを使わずに操作するよりも緻密に動かすことができました。ダヴィンチに触る機会は一度きりだと思うので、貴重な体験ができ、非常にうれしく思いました。

一般口演では、東日本大震災や能登半島地震について聞きました。災害発生時は、赤十字病院で働くスタッフだけでなく、地元の保健師や市役所の方たちともコーディネートを組み、支援していることが分かりました。また、引継ぎもしっかり行い、現場での支援期間が長期にわたる中で高度な治療を行っていました。口演や質疑応答を聞いて、災害医療に携わる人たちは、現場にいるときはその場で最適な行動を考え実行し、支援が終わってからもその行動が正しかったのかを

検討しており、皆同じ目標に向かって努力しているんだと熱く感じました。

最後に、引率して下さった平田誠先生をはじめ、学会に参加するにあたり、協力して下さった先生方に御礼申し上げます。今回の学会を通して、災害医療における赤十字病院の役割を再認識することができました。得た知識を生かし、今後の生活に役立てていきたいです。

2. 現地参加がわかる写真(4枚)

